

つなぐ

第15号

2019年11月1日発行
鳥取県 境港市議会



令和元年9月定例会（補正予算） _____ P 2

令和元年9月定例会（議決結果） _____ P 3

一般質問 _____ P 4

境港市議会Q&A集

～あなたの疑問にお答えします～ _____ P17

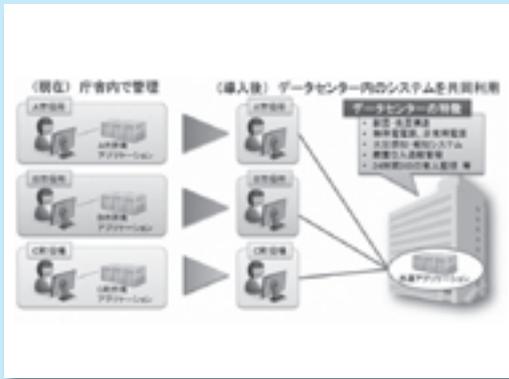
「市民と議会の懇談会」のお礼と報告 _____ P17

若手農家の皆さん

令和元年 9月定例会(補正予算)

9月定例議会は、9月4日から9月24日までの21日間の会期で開かれ、令和元年度一般会計補正予算案など予算議案4件、人事7議案、境港市会計年度任用職員の給与等に関する条例制定など条例8議案、境港市防災行政無線システム更新事業に係る工事等請負契約の締結についての議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。その他、6月議会で継続審査となった陳情2件については、審議の結果、1件は不採択、1件は採択し、意見書提出となりました。

議決結果はP3に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。



基幹業務システム運営事業

自治体クラウドシステムへの移行のため、
現行の基幹業務システムからデータを抽出する経費

3,291万円



地域経済循環創造事業補助金

地域に根ざした健康と生きがいづくりの拠点となるフィット
ネススタジオを夕日ヶ丘2丁目に整備する事業者への補助金

4,600万円



市営住宅建替事業

老朽化により新たな入居を停止している市営
住宅のうち、空家になっている住宅を解体する

1,925万円



世帯第3子等副食費助成事業

現行の制度で保育料を無償としている
第3子以降の園児に、幼児教育・保育無償化で新たに
実費徴収される副食費も無償にするため助成を行う

305万円

令和元年9月定例会 議決結果

◆議案(人事)

番 号	案 件	議決結果
第34号	教育委員会教育長の任命について	同 意 (全会一致)
第35号	教育委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
第36号	公平委員会委員の選任について	同 意 (全会一致)
第37号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
第38号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
第39号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
第40号	人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意 (全会一致)

◆議案(予算)

番 号	案 件	議決結果
第41号	令和元年度境港市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
第42号	令和元年度境港市介護保険費特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
第43号	令和元年度境港市市場事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
第44号	令和元年度境港市後期高齢者医療費特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)

◆議案(条例)

番 号	案 件	議決結果
第45号	境港市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
第46号	境港市会計年度任用職員の給与等に関する条例制定について	原案可決(全会一致)
第47号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決(全会一致)
第48号	境港市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
第49号	境港市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
第50号	境港市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
第51号	境港市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
第52号	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決(全会一致)

◆議案(その他)

番 号	案 件	議決結果
第53号	工事等請負契約の締結について 【境港市防災行政無線システム更新事業】	原案可決(全会一致)

◆陳 情

番 号	案 件	議決結果
第4号	ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書の提出を求める陳情	採択 意見書送付(全会一致)
第7号	汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定についての陳情	不採択

◆委員会提出議案

番 号	案 件	議決結果
第5号	ハンセン病元患者家族に対する施策を速やかに講ずることを求める意見書の提出について	原案可決(全会一致)

このほかに、報告案件が3件と一般会計等の決算認定に関する議案9件(閉会中の継続審査)があり、平成30年度決算審査特別委員会が設置されました。また、境港市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われました。

市政を問う

13人が一般質問(各個質問)を行いました。

ページ	質問事項	質問議員
4	①各公共施設の運営の今後のあり方や事業・施策に係る検討委員会等の現況について	景山 憲
5	①来年の次期市長選について ②医療費の抑制策について	米村 一三
6	①深刻化する日韓関係による影響について ②農業振興一般について	永井 章
7	①8月に市内でおこった停電への対応について ②原発事故から8年、福島の実験からも、原発の稼働に反対を	長尾 達也
8	①移住定住対策としての関係人口施策と水木しげるロードの振興策について ②積極的な外国人材の受け入れと多文化共生のまちづくりについて	足田 法行
9	①水産業の振興対策について ②多文化共生社会の実現について	森岡 俊夫
10	①誠道小学校の跡地利用について ②(仮称)境港市民交流センターの整備について	佐名木知信
11	①コミュニティ・スクールについて ②中学生職場体験「ワクワク境港」について	築谷 敏雄
12	①原発安全対策費について ②原発について ③脱原発から自然エネルギーについて	松本 熙
13	①空き家対策について ②買い手弱者の対策について	荒井 秀行
14	①スポーツ大会など誘致について ②熱中症対策について	平松 謙治
15	①障がい者支援策の拡充を～重度心身障がい児(者)福祉タクシー助成制度について ②特別医療費助成制度(精神障がいの対象拡大、低年齢児の窓口完全無償化)について	安田 共子
16	①共生社会のさらなる推進と施策の拡充について ②マイナンバーカードのさらなる利活用について	田口 俊介

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

海とくらしの史料館の活性化対策を

教育長

あり方検討会を定期的に開催する

「景山」水のない水族館」として魚のほく製を中心にした本市の「海とくらしの史料館」も開館から



無所属 景山 憲 議員



海とくらしの史料館

25周年を経て施設の老朽化に加え、展示されているのは製も固定化し、同じ展示、同じく製では、にぎわいはないので。近隣の海で漁獲された珍しい魚類などのはく製は検討されないのか。存続をかけ、施設、展示画面からの全面的見直しと、市民の暮らしにかかわる資料の適切な展示を。

「教育長」にぎわいのある施設をめざした「海とくらしの史料館」のあり方などについて意見を聞くため、現在、委員の人選などを検討している。今後は、多くの人々に訪れてもらえるようにならざるを得ない。今後は、多くの人々に訪れてもらえるようにならざるを得ない。今後は、多くの人々に訪れてもらえるようにならざるを得ない。

来年夏の市長選挙への対応について

市長

将来を新しい人材・新しい力に託したい



会派 きょうどう 米村 一三 議員

〔米村〕4期目の任務に精励（せいれい）されている、中村市長の任期も残り少なくなりました。市民の中には5期目も市長として活躍してほしいとの声が多くある。次期市長選への思いを聞きたい。



来年夏は市長選挙です

〔市長〕平成16年市長に就任以来、市民や議会の皆さまのご理解を得ながら、全力で市政の運営にあたってきた。この間、市政の最大の課題であった行財政改革を始めとしてさまざまな課題に対処し、力およびぬ点も多々あったとは

思うが、それ相応の成果をあげることができたのではないかとと思うところだ。境港市の将来に向けたさらなる発展の基盤が整い、道筋がついた今、10年、20年先は、新しい人材、力に託すべきとの思いにいたり、来年夏の次期市長選挙には出馬しないとの決断をした。残りの任期に全力を傾けていきたいと考えている。

医療費の適正な抑制が市政課題だ

市長

市民の健康づくり 医療費節減を推進する

〔米村〕本市の一人あたりの医療費は県内トップクラスだ。この実情を市民に広報し理解を得て、医療費の適正な抑制に努めることが重要課題だ。〔市長〕国民健康保険の医療費は県内市町村中2番目の高水準だ。医療の高度化、新薬の適用で医療費



ウォーキングにも利用できる 弓ヶ浜サイクリングロード

は全国的に増加している。疾病の早期発見、早期治療の勧奨、糖尿病の重症化予防、後発医薬品の利用促進で医療費の節減に努めている。〔米村〕医療費抑制には健康づくりを習慣的に実行することも手法の一つだ。本年6月に、新しくできたサイクリングコースの活用を広報

を鳥取県に求めている。〔市長〕鳥取県ではこのコースをサイクリングだけではなくウォーキングやジョギングにも利用してもらいたいと考えている。市民の皆さんにも大いに活用してもらい、健康づくりの推進となるよう、市としてもPRを考

深刻化する日韓関係による影響は？

市長

関係機関と連携し
情報発信などに努める

【永井】DBSクルーズフェリー運航の現状や見通しは。

最高を記録し堅調に推移していた。しかし、日韓関係の悪化やウオン安などの影響を受け、搭乗者数、搭乗率ともに減少し、8月の搭乗率は、55・5%で前年より14ポイント減少した。助成制度の拡充や利用拡大に向けた取り組みを進め、今後も関係機関と連携し、情報発信などに努める。

【市長】悪質なトラブルは聞いていないが、引き続き、国に対して安全確保を要望していく。

【市長】韓国入旅行客は減少しているが、貨物については、悪化の影響は、直接にはない。鳥取県や中海・宍道湖・大山圏域市長会などの関係機関と一丸となつて支援し、今後の両国間の動向を注視していく。

【永井】ソウル便の現況と対策は。
【市長】平成30年度の搭乗者数は過去



自民クラブ 永井 章 議員



運休が決まったソウル便

造成地の排水路や側溝管理について

市長

改善や新設を検討し
農業者と連携し取り組む



造成地と側道の水たまりの状況

【永井】二中間交差点北東部に位置する農地の排水路と、造成地の側溝の管理状況についてうかがう。
【市長】排水機能の低い区間があるために、農地の水はけの悪さや、大雨時の道路一部冠水などの要因となっている。本年度の「農地耕作条件改善事業」では、農地造成に加え、造

成地周辺の排水機能を改善するために、五ヶ井手川への排水路新設を含め検討している。管理については、農業者が行うことが原則であるが、清掃困難な箇所については市が実施するなど、農業者と連携し取り組んでいく。

【永井】市民農園の利用状況や倉庫の計画・管理は。
【市長】中野市民農園が60区画の内47区画、竹内市民農園が42区画の内32区画、中浜市民農園が72区画の内42区画が利用となっている。倉庫の更新や新設については、各農園利用者に意見をうかがいながら検討する。

猛暑の夏 停電への対策をしっかりと

市長

避難所の活用は 公民館を優先的に

特に高齢者を自宅で介護している家庭などはたいへん苦労された。市全体ではなく、数時間の停電で被害も少なかったとは思いますが、小さな備えの積み重ねが大きな事故の教訓になる。市として事業者に必要なことを申し入れ、公共施設などを緊急時の一時避難所に活用できるようにし、福祉施設に「可能な限り協力」の申

し入れを、見解は。【市長】中国電力に早期の原因特定と復旧に努めるよう依頼したほか、警察署、消防署に情報を提供し、必要に応じた対応を依頼。避難所などの活用については、季節にもよるが、避難が必要とされる場合、まず、公民館などの公共施設を優先的に活用するようしたい。

【長尾】8月、市内で停電が発生し情報がない中、市民は不安な時間を過ごし、



日本共産党境港市議団
長尾 達也 議員



猛暑の8月9日と11日に市内で停電発生

福島を経験からも 原発稼働に反対を

市長

議会、市民の意見を聞き 県、米子市と検討

【長尾】8月福島に視察に行ったが、原発事故から8年たった今でも、生業の基礎の農業、漁業、観光業など、事故前の水準に戻っておらず、漁業はまだ試験操業の段階である。誰も帰ることができない帰還困難区域が7市町村で337km²（境港市の11・6倍）もある。帰還宣言が

出された地域でも戻る人が少なく、青年特に子どもは極端に少ない。福島の状況から見ても、原発の再稼働、新規稼働はありえないと考えるが、見解は。

【市長】規制委員会の審査に合格した場合、国・中国電力から安全性、必要性な

ど説明を受け、市議会、市民の意見をうかがい、鳥取県、米子市と検討したい。【長尾】審査に合格しても安全とは言えない。市民の命と暮らしに責任を負う自治体として、福島の状況をふまえ、主体的に検証するよう要望したい。



境港市の面積の11.6倍もある福島県の帰還困難区域

関係人口施策について うかがう

市長

都会の学生・留学生との
意見交換を実施した



公明党
足田 法行 議員

〔足田〕水木ロード
振興策を都会の人や
留学生などと語り合
う場として、古民家
を再生した妖怪屋敷

を設けては。

〔市長〕妖怪屋敷整
備の予定はないが、
多くの大学生や外国
人留学生との意見交
換を行った。今後も
関係人口の拡大をは
かっていく。

〔足田〕本市に水木
しげるロードや境港
のことを語る雰囲気
のあるスペース、
関係人口創出の拠点
が必要と思う。地方
創生移住支援金の利
用状況は。
〔総務部長〕現在申
し込みはない。



しまこトアカデミーの仲間たち
(島根県の先進的な関係人口の創出施策)

〔足田〕関係者への
情報提供が必要と思
う。さらに拠点と
ともに関係案内人
(コーディネーター)
も必要では。

〔産業部長〕将来的
には必要だと思う。

〔足田〕ロードのプ
ロモーションビデオ
の作成はどうか。
〔産業部長〕関係者
と相談したい。
〔足田〕水木しげる
生誕百周年に向けて
妖怪ファンの創出を
願う。

多文化共生社会の 早期実現を！

市長

多文化共生社会になるよう
積極的に取り組む

〔足田〕日本語教室
の参加者が少ないと
思うが、理由は。
〔産業部長〕休日で
もあり、実習生のそ
れぞれの考えがある
と思う。
〔足田〕出稼ぎ感覚
の人が多くと聞いて
いる。日本語習得に
対しての関心は。
〔産業部長〕日本語
を習得して、レベル

を上げ母国に帰って
就職につなげたい
人、日本の文化を楽
しみたい人など個人
差が大きいと思う。
〔足田〕国内外の高
度外国人材を市職員
として採用するのは
どうか。
〔総務部長〕任用職
員採用に関して、外
国籍の枠を取り払う
ことは考えていな
い。現時点では、研

究課題だと考える。
〔足田〕外国人受け
入れと多文化共生を
早く進めるべきで
は。
〔市長〕共生社会を
作らないと、地方は
後れをとってしま
う。行政も企業も同
じ認識に立って、と
もに暮らせる社会に
なるよう積極的に取
り組んでいく。



本市の外国人と地域との交流会

昭和町の汚水処理施設への対応は

市長

幹線道路への公共下水道管渠整備も検討する



会派 きょうとう 森岡 俊夫 議員

【森岡】昭和町の水産加工場は、高度な汚水処理能力が問われている。しかし、水産加工場の排水処理施設は、老朽化が



昭和町の汚水処理をになう公社

著しい。昭和町全体の衛生管理強化のため、県の補助金を活用して昭和町の環境整備を促進してはどうか。

問題もある。これらの問題への対応は避けて通れない。昭和町の汚水処理対策として昭和町に公共下水道整備を行ってはどうか。

【市長】莫大な事業費をよく勘案して、鳥取県と補助金の柔軟な対応ができないかなど、内容を詰めていきたいと思う。

【市長】昭和町の幹線道路に公共下水道管渠を整備して排水処理することが望ましいと考え、現在検討している状況だ。

【森岡】境港市污水処理公社に接続されていない加工場の対策や汚水処理公社自体の設備の老朽化の

【森岡】その検討内容については、議会側への報告もお願いしたい。

外国人との共生社会への対応は

市長

交流員、通訳、住居など重要な課題と認識

【森岡】今後は外国人雇用が増えてくる。その際の問題点となるのが、医療機関でのコミュニケーションに苦慮する点だ。母国語の問診票配布や翻訳機を設置してもらおう。医療機関と連携してはどうか。

【市長】多言語問診票の使用を医療機関に働きかけている。

翻訳機は既に6力所の医療機関に導入されている。

【森岡】通訳や交流員を配置してはどうか。

【市長】将来的には検討すべき課題であると考えている。

【森岡】人材確保の観点から、工場敷地内に宿舍建設ができればどうか。



研修中の外国人技能実習生

誠道小跡地を子ども中心の施設に

教育長

活用策の一つとして参考になりたい



自民クラブ 佐名木 知信 議員

【佐名木】誠道小学校跡地利用の議論は、地域住民にとって一番の心配事である。住民の声にも上がっている「子どもを中心とした施設」



幸朋苑の運動会に参加する誠道小学校の児童

に生まれ変わらせられないか。「子育てするなら境港」にふさわしい施設となると思うが、所見は。

【教育長】地域住民の意向に沿った利用が基本だ。地域コミュニティの活性化がはかられ、持続可能な利活用をめざす。活用策の一つとして参考になりたい。

【佐名木】学校再編を進めるにあたり、「学校跡地を核にしたまちづくり」の観点から都市計画についての所見を。

【教育長】学校が統合となってもコミュニティ・スクールは存続。自治会、公民館などと連携して、地域の活性化と住民主体のまちづくりを推進する。

【佐名木】今後、学校再編による学校跡地活用とまちづくりを同時進行し、まちの再生につなげることを希望する。

総合プロデューサーの必要性は

教育長

各機能の管理運営団体を決定する中で検討

【佐名木】ホール、図書交流広場、会議室、福祉、防災など、各機能の特徴を最大限に活かすための組織や人財育成・人材登用が大切。所見をうかがう。

【教育長】機能ごとに管理運営団体が入居する。今後、施設を総合的にプロ

デュースする館長の必要性や運営協議会の設置を検討し、効果的な管理運営体制の構築をはかる。

【佐名木】管理運営計画を具体的に実行するにあたり、市民との相互コミュニケーションは十分にはかられるのか。

【教育長】利用団体の意見を聞いたり、広報活動を通じては

かってきた。今後も多くの方が事業や活動に積極的に参加してもらえようコミュニケーションを取っていく。

【佐名木】すべての市民の幸せにつながる施設となるよう、広報・広聴・傾聴・対話を重ね、また市民参加をはかられながら計画を進められたい。



(仮称) 境港市民交流センター 完成イメージ図

CS導入後の状況や課題は

教育長

組織の活動支援や 地域ネットワークが必要

※CS=コミュニティ・スクールの略



学校運営協議会の開催風景

【築谷】CS導入後の状況や課題は。【教育長】学校運営協議会を支える組織として「ふるさと一



自民クラブ 築谷 敏雄 議員

中校区応援団」が組織され、学習支援を行う「まなびの応援団」、安心安全な学校づくりを支援する「あんしん応援団」、地域での子どもたちの活動を支援する「ふれあい応援団」がある。今後は、地域の力を活用した学習計画の作成、学習支援をする地域ネットワークづくりを進めていく必要がある。

【築谷】地域の皆さんに、課題の共有や具体的な取り組みなど、より理解を深めるための支援が行われているか。【教育長】保護者・地域住民に向け、推進員やコーディネーターによる具体的な内容をまとめた通信を発行している。一中校区ではホームページで学校運営協議会の協議内容などを公開している。イメージをつかんでもらうためにフォーラムを開催するなど、理解をはかっている。

中学校職場体験学習の現状の課題は

教育長

生徒の希望を十分に共有し実施する



ワクワク境港2019 広報チラシ

【築谷】中学校職場体験学習の現状の課題は。また、見直しを考える時期では。【教育長】平成23年度から市内3中学校で一斉に実施している。受け入れ事業所からのアンケート結果によると、事業所が生徒の活動を肯定的にとらえ、来年度も受け入れたいとの声がある一方、実施日数や時期、活動のねらいが伝わりにくいとの声も上がっている。今後は学校、事業所が、生徒に何を学んでほしいのか

十分に共有した上で、実施していくことが必要と考える。【築谷】企業の新規開拓が必要ではないか。また、生徒の希望も含め、企業への説明会を行っては。【教育長】毎年、新事業所の開拓に努めている。実施後に事業所との懇談やアンケートを実施し、来年度に向けた改善などの参考にしていく。また生徒の希望する職場体験ができるよう、地域の企業や関係協力機関と連携していく。

安全性を完備した原発は可能か



無所属
松本 熙 議員

市長

原子力規制委員会の審査を経て 慎重に判断する

【松本】電力11社の原発安全対策費は、2013年が約1兆円で6年後に5兆744億円になり、さらに増える。完璧な安全性を完備した原子力発電が可能なのか。原発の稼働に対する所見は。

【市長】原発の新規稼働については、原子力規制委員会の審査に合格し、国と中電から、原発の安全性や稼働の必要性の説明を受け、市議会や市民の意見を聞き、専門家の意見も参考に、鳥取県、米子市と連携し、慎重に判断したい。

原発依存の可否を問う

市長

原発は安全性を大前提に 当面は必要なもの

【松本】福島原発被災地は、増え続ける高濃度汚染水問題



福島第一原発に並ぶ汚染水の貯蔵タンク
(2019年9月20日 朝日新聞より)

【市長】原発依存は可能な限り早く低減すべきと考えている。しかし、火力発電は、環境への負荷や、燃料の国外依存度などの問題を抱えている。再生エネルギーは安定供給が難しい。原子力発電は安全性の確保を大前提に、当面は必要なものと考えている。

や高濃度放射性廃棄物処分場も未定だ。子や孫の世代に負担を残すことになる。それでも原発依存で進むのか。

電力小売り事業で 雇用創出と売電を

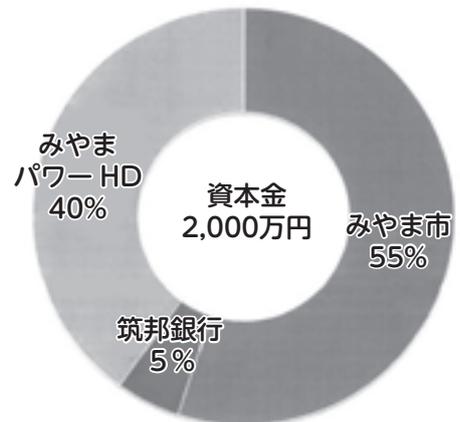
市長

自治体初の取り組み として注視したい

【松本】福岡県みやま市が電力小売り事業で、若者の雇用創出と40億円を越す売

電収入を地域還元に変えたと聞いた。自然エネルギー政策で雇用や売電収入が可能となった、みやま市の取り組みへの所感。

【市長】日本初の自治体による電力事業会社の設立で、市外に流出する電気料金を地域内に取り込み、市民サービス向上や地域産業の活性化を実現している。先進的で意欲的な取り組みとして注視していきたい。



「みやまスマートエネルギー株式会社」の出資構成

空家・空地の管理を自治会に委託で



自民クラブ 荒井 秀行 議員

【荒井】特定空家以外の空家の解体助成金はどうか。
【市長】空家の管理

市長

民間業者の対応状況などを調査してみたい



空家となった住宅

は所有者の責務である。建物の解体助成制度は特定空家に限定している。
【荒井】空家対策について、行政の立場で所有者に指導できないか。
【市長】行政には指導権限はないが、所有者などに、その適正維持管理や利活用のための啓発や広報に努める。
【荒井】個人の空家・空地の管理の受け皿として、自治会や市の外郭団体などで連

携した組織ができないか。
【市長】市との協定に基づき境港市シルバー人材センターが空家管理業務を一部行っている。今後は、建物所有者のニーズや、民間業者の対応状況などを調査してみたい。
【荒井】「空家対策計画」策定時、事情の詳しい自治会と協議しては。
【建設部長】策定時、パブリックコメントなどを実施したい。

買物環境調査で見えてきたものは

市長

3割の人が「不便さを感じる」と回答

【荒井】今回の買物環境調査で見えてきたものと今後の課題の取り組みは。
【市長】3割の人が「店までの距離が遠い」、「身体的に出かけるのが困難」など不便さを感じると答えた。遠いと回答した人は、渡、境、上

道で大幅に増えている。今後も状況把握に努め、対策を検討したい。
【荒井】買物弱者に對しての対策は。
【市長】地域ケア会議で外出困難な高齢者へのサービス支援を検討。その手段であるはまる一ぱバスを乗る。その手段で地区で実施している。
【荒井】足の弱い人

で介護認定を受けていない人が大変だと思っ。対策は。
【福祉保健部長】はまる一ぱバスにシルバーカーで乗り入れも可能であり、フレイル予防の取り組みも推進している。
【荒井】買物弱者対策でも、自治会の取り組みが重要だ。住みよい境港の実現を願う。



©水木プロ

はまる一ぱバスで買い物

ねんりんピックで 地域に活力を！

市長

市も積極的に
かかわっていく

【平松】令和5年度に鳥取県で全国健康福祉祭（ねんりんピック）が開催される。本市での取り組みは。

【市長】平成29年に県から種目や場所に



ニュースポーツを楽しむことぶきクラブの皆さん
(写真提供：境港市ことぶきクラブ連合会)

ついで意向調査があった。県は、今年度中に再調査すること。

【平松】このような事業は、地域の活力拡大につながると考える。事業の実施は、各競技団体などがなうので無理強いはできないが競技団体への働きかけを行うべきと考える。また、多くの種目がある中、例えば「フイツ

シング」は競技をになう団体はないかもしれないが、釣具店や遊漁船などの関係者と可能性を探ることも必要と考える。ウォークラリーなどは、一会場だけでなく複数会場での開催も良いと考える。ねんりんピックに向け市長の考えは。

【市長】市としても積極的にかかわっていききたい。

責任ある熱中症対策を！

教育長

大型扇風機を設置
指針も研究する

【平松】小中学校の体育館と市民体育館や地区体育館の熱中症対策の指針や状況は。

【教育長】小中学校では、日本スポーツ協会の指針にもとづき、暑さ指数WBGT31度を超える場合は体育館での運動を原則中止としている。



設置された大型扇風機

る。暑さ対策として小学校に大型扇風機を設置した。市民体育館では、貼り紙や職員による注意喚起を行い、大型扇風機の無料貸し出しを行っている。今後、暑さ指数を計測する機器を配備し、より適切な注意喚起に努める。地区体育館では、利用者の判断に任せている。今後、

他と同様に大型扇風機を設置したい。

【平松】市民体育館などでも学校のように暑さ指数が基準値になれば使用を禁止する指針を定めるべきと考えるが、見解は。

【教育長】成人を対象とした指針を定めることの賛否も含め研究していきたい。

タクシー利用促進へ 助成制度拡充を

市長

精神障害などに拡大
さらには考えていない



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員

【安田】どのような考えにもとづいて福祉タクシー助成の対象拡充したのか。

【市長】本年度、下肢機能障害などの身



タクシーを待つ観光客の列

体障害者手帳3級と精神障害者保健福祉手帳1級を対象に加えた。障害者団体の意見・要望や他市町村の状況をふまえて追加した。

【安田】軽度障がい者や高齢者も対象にタクシー運賃を一部補助している自治体もある。ドアトゥドアの支援、対策が必要では。

【福祉保健部長】外出支援とフレイル（虚弱）予防の両輪

が大切。はまるーぶバスの利用促進や、地域の力、助け合いが存分に使えるような施策を考えたい。

【安田】タクシーの利用促進も必要ではないか。市民の足観光のない手でもあるタクシー業界の現状はどうか。

【市長】人材不足や需要の落ち込みもあり、深夜は1社しか営業していない。業界から意見を聞きたいと思う。

障がい者や 子どもの医療費助成拡充を

市長

市単独では考えていない
県や国へ要望する

【安田】市単独医療費助成も精神障がい者へ拡大が必要では。

【市長】自立支援医療制度による通院支援があり、拡大は考えていない。

【安田】自立支援医

療は身体疾患の治療は対象外。お金が心配で治療を控えるなど、精神障がい者の身体疾患の実態は。

【福祉保健部長】精神障がいの方は生活習慣病が少なくない。予防のための指導が重要。

【安田】指導は当然だが医療費助成に他の障がいと差をつける必要があるのか。実態調査をして制度設計するべき。

【市民生活部長】精神障がい者への支援は早期発見・相談・治療には努めていきたい。県には、特別医療制度の市町村の単独部分について要望したいと思う。

【安田】低年齢の子ども医療費完全無料を検討しては。

【市長】子どもの医療費負担を軽減する制度は国の責任で創設されるべき。引き続き要望していく。



お金の心配なく病院にかかれますか？

障がい者施策のさらなる改善拡充を

市長

今後もより良いサービス提供をめざしたい



〔田口〕行政におけるさまざまなサービスは申請主義で、申請書を書くところがスタートだが、発達障がいの方など



「誰かの不便」を「みんなの使いやすさ」に！

は申請書の記入例が記入の妨げになると聞いている。障がい者の意見を聞いて、申請書類の記入例の改善をしては。

〔市長〕今後もより良いサービスを提供するため、さまざまな障がい者が困難に感じていることを聞き、申請書類の記入例の改善などを行いたい。

〔田口〕本市の障がい者を対象にしたおむつの支給は、対象

者がごく限定されているのが現状。育成会の皆さんからも、重度だけでなく、中度や軽度の場合でも年齢が上がってもおむつが必要な場合も多く、おむつ代の助成制度を望む声がある。実施について検討を。

〔市長〕中度や軽度の障がい者を対象とする独自の助成制度創設については実態の把握を含め、今後研究していきたい。

マイナンバーカードの積極的活用を

総務部長

マイキープラットフォーム運用協議会に参加

〔田口〕2020年からのマイナンバーカードを活用した消費活性化策や保険証としての利用開始に対する準備と情報収集の状況は。

〔市長〕先行自治体の動向や事業内容を研究し、検討したい。また、地方公務員などへは本年度内のカード一斉取得を

【マイキープラットフォーム】

マイナンバーカードを、様々な利用カードとして活用したり、クレジットカードのポイントなどを商店街での買物やオンラインでの地域の産物購入などに活用できるようにする仕組み。



マイナンバーカードを活用したポイント還元や健康保険証としての利用など、もっと便利に！

推進するため、未取得者に対し手続きを強く促したところである。

〔田口〕これらの施策はマイキープラットフォームなどのシステムを活用したものと聞いている。本市でも積極的に活用すべきと思うが。

〔市長〕国や先行自治体の動向を注視しながら、後年度負担

や費用対効果などを検証したい。

〔田口〕まずは、マイキープラットフォームへの参加を検討しては。

〔総務部長〕協議会への参加届は速やかに提出したい。

〔田口〕カードの保険証利用開始までにどれだけ取得率をあげるかが鍵である。

境港市議会Q&A集（抜粋） ～あなたの疑問にお答えします～

市民アンケート調査に寄せられた皆さんの疑問にお答えするために境港市議会Q&A集を作成しました。特に関心があった項目を抜粋しました。なお、Q&A集は市議会ホームページや各公民館でもご覧になれます。

Q：議員定数を16名とした経緯は？

A：平成の大合併が全国規模で議論されましたが、境港市は近隣自治体と合併しないで単独市政を選択しました。合併が取りざたされた背景には財政の問題がありました。当時、境港市も例外ではなく、重要な市政の課題として財政の健全化がありました。境港市は単独で存続するため、行財政改革に取り組み、議会としても財政再建の一助となるよう、平成17年3月に議員発議により条例を改正し、平成18年2月から議員定数を18名から2名削減して16名としました。

●境港市議会議員定数の推移

	S31.4～	S41.9～	S61.9～	H2.9～	H10.2～	H14.2～	H18.2～
議員定数	30人	24人	22人	21人	19人	18人	16人

Q：県内他市の議員報酬の状況は？

A：人口規模の違いなどにより一概に比較はできませんが、以下のとおりです。

●県内他市の月額議員報酬（令和元年7月1日現在）

単位：円

	境港市	鳥取市	米子市	倉吉市
議長	487,800	584,000	541,000	500,000
副議長	414,000	513,000	475,000	420,000
議員	385,200	475,000	440,000	390,000

【参考】

人口（人）	34,024	187,455	147,865	46,983
議員定数（人）	16	32	26	17

※人口は令和元年5月末現在、議員定数は令和元年7月1日現在

令和元年度「市民と議会の懇談会」のお礼と報告

令和最初の開催となりました。今回も7会場で行い合計88人の市民の皆さんにご参加いただきました。ご参加ありがとうございました。

各会場でいただいたご意見やご提言は、今後の議会活動や市政運営の調査・研究に活かしてまいります。





中野漁港から「高嶺の花」を望む 2018年 撮影：植田 利 様



西日の頃 2019年 撮影：大濱 博幸 様

あとがき

再刊された「つなぐ」も回を重ねて、第15号の発行となりました。4人の編集委員はわかりやすく、読みやすくを合言葉に議論を重ねながら編集にあたっております。8月に実施した「市民と議会の懇談会」の会場で指摘された難解な横文字には注釈をとのすにも、今号から対応しております。皆さんの声を活かしながらより良い議会報にして行きたいと思っております。

議会報は本会議での議員の質問、執行部の答弁を中心に掲載しておりますが、紙面の都合上ごく一部となっております。発言した議員が原稿を本会議終了後、速やかに提出しなければなりません。適切に要約しなければなりませんし、タイトルや本文には文字数の制限があるため議員も頭をひねりながら原稿を作成しております。この議会報を市民の皆さんに手に取って目を通していただくのが一番の喜びです。

(米村)

【発行責任者】

議長 柗 康弘

【広報部会】

部長 安田 共子

副部長 米村 一三

築谷 敏雄
足田 法行